

O's news

オーズニュース

2016

第133号

2

2016年2月1日発行

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1 TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

<http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

新年のご挨拶

院長 大西 英之

2016年1月がスタートしました。あけましておめでとうございます。

当院は今年で丸15年が経過しました。最初の10年間は、病院の充実を図るために努力してきました。その後は第2ステップとして、2013年には南館をオープンし、北館の改修工事を行いました。現状の形になった2014年以降、年間手術件数も700件を超え、全国的に手術件数が多い病院として知られるようになりましたので、患者様や地域の医療機関から、より一層信頼される病院となるように心を引き締めて頑張っていきたいと思っています。

当院は病棟を脊椎脊髄、脳腫瘍、そして血管障害の3つに配分していますが、それぞれの役割を明確にし、運営することを現在目指しています。昨年10月、山本先生が脊椎・脊髄センター長として着任されてから、林先生と共に「脊椎脊髄外科」に力を注いでいます。こちら大きなメインターゲットとして、大きく伸ばしていきたいと思えます。脳腫瘍の病棟は兒玉先生に、血管障害の方は久我先生・高橋先生を中心とします。そして開頭の手術も当院の大きな柱ですので、これまで以上にステップアップしていきたいと考えています。脳腫瘍では、内視鏡の手術や術中MRIを含めた手術、機能的な術中モニタリングを駆使した手術と、これから増々発展していく分野の一つですので、時代に乗り遅れず、むしろ先駆けるように進めていきたいと思えます。それぞれの病室、病棟が特色を出しながら稼働していければ素晴らしい病院になり、更なる発展をしていくのではないかと考えています。

もう一つの2016年の大きな目玉としましては、エクサブレートという新しい医療機器を購入しました。これは、

超音波を脳の一点に集中的に照射し、そこで超音波の熱効果を利用してターゲットの治療を行います。本態性振戦でお薬を飲んで治らないという患者さまは結構いらっしゃいますが、エクサブレートはこれらの患者さまが対象となります。しかし、保険の適用は認められておりませんので、臨床試験という形で治療を始めようと考えています。この医療機器は、MRIによるモニター下に超音波を集束して治療を行います。平日は他の検査と重なってしまいますので、まずは土曜日に行く予定にしております。当院にはサイバーナイフやガンマーナイフといった放射線を使う治療装置がありませんので、まずはこの機械を使用してスタートをさせたいと考えています。また、ゆくゆくは脳腫瘍や脳浮腫の治療にも役立たせたいと考えています。エクサブレートは、かなり将来性のある、また夢のある治療装置であると思えますので、セッティングが完了し、倫理委員会を通した後、4月頃から運用を開始したいと思えます。

今年は発展の年になると考えていますので、皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

(平成28年1月4日朝礼より)



冬も本番がやってきました。冬は気温が下がるため、血圧が上がりがやすくなりますし、室内と室外で気温の差が大きくなるので、その寒暖差が血管に負担をかけることも多くなります。そのため血圧の上昇によって血管が破れる「脳出血」が多くなるのです。

また冬には、血液の粘っこさが上がり、血流が悪くなるという報告もあります。このような隠れ脱水が「脳梗塞」の危険因子になりかねません。脳梗塞はなんの予兆もなく突然発症すると思われがちですが、脳梗塞を起こした人の3割に一過性脳虚血発作(TIA)と呼ばれる前触れ発作が起っています。本格的な脳梗塞を未然に防ぐためには、この前触れ発作を見逃さず適切に対処することが大切です。

脳組織は極めて酸素不足に弱い組織です。一旦つまった血管は一刻も早く治療が必要です。おかしいと思ったら迷わず病院に行きましょう。



2016年1月より 全国がん登録が 開始されました。



医療情報管理室
特命主任 伊藤 優実

「全国がん登録」とは、日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する新しい仕組みです。当院でも、がん登録を行います。従事する職員は、個人情報の取り扱いやデータの処理方法について専門的な研修を受けた職員が担当しています。登録データに関わる個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法を遵守し、情報漏洩がないよう最大限の注意を払っております。皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

がん登録 Q&A

Q1 がん登録は患者自身がするのですか？

A1 病院や診療所が登録をします。患者さんにしていただくことはありません。

Q2 登録のとき患者に同意が求められますか？

A2 病院ががん登録の届け出をするとき、患者本人に同意は求めません。同意の得られた方のみを登録すると、情報が偏ってしまい、がん登録の本来の目的である、すべてのがんの数を把握することができなくなります。ご理解をお願いいたします。

Q3 個人の情報が漏れることはありませんか？

A3 国立がん研究センターと都道府県のがん登録室は入退室が制限され、利用されるコンピュータは、通常業務のネットワークから隔離されています。病院・診療所の職員も含めたすべてのがん登録の担当者は、個人情報保護についての研修を受け、情報が適正かつ安全に管理されるよう万全を期しています。担当者が情報を漏らしたときは、法律により、懲役又は罰金が科せられます。また、集計結果やがん登録に基づく報告において、個人の特定につながる情報が出ることはありません。こうした安全管理体制は、全国共通のマニュアルに従って実施され、内部・外部の監査によりチェックされます。



日本の四季暦「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子

2月

如月

草木の芽が張り出す「草木張り月」、春の陽気が更にやって来る「気更来」などいろいろ諸説があります。寒さはまだまだ続きますが、日差しの中に春の気配が感じられます。

二十四節気

二十四節気

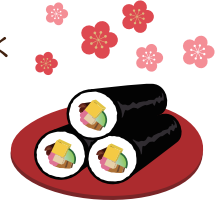
たいかん

大寒



七十二候

1/31~2/3(七十二候) **鶏始乳** にわとりはじめてとやにつく
鶏が春の気配を感じ、卵を産み始めます。その年の徳福を司る歳徳神がいる方向(恵方)に向かい、巻き寿司を一本丸ごと食べる「恵方巻き」♪丸ごと食べるのは「切らない=縁を切らない」の意味があります。



一節気

りっしゅん

立春

二十四節気の一つ初め。旧暦では、立春が年の始め。正月とおめでたいことから「立春大吉」とされました。風は冷たいですが、ゆづり湯と春は近づいています。

2/4~8(一候) **東風解凍** はるかせこおりとく

東風(こち)と呼ばれる春の風が東から吹きます。真冬の寒さのピーク、目に見える雪解けはまだですが、その中では春の胎動が始まります。2/6は初午の祭り。伏見稲荷大社に祭神が降りた日とされています。



2/9~13(二候) **黄鶯睨睨** うぐいすなく

「ホーホケキョ♪」その年初めての鶯の鳴き声を「初音」と、「ケキョケキョ」と続く声は「鶯の谷渡り」と呼びます。

ほころび始めた梅の枝にとまるかわいらしいその姿は、春の訪れを告げています。

2/14~18(三候) **魚上氷** うおこおりにあがる

川や湖の氷が溶け、魚が跳ね、元気に泳ぎだす頃です。冬菜、うぐいす菜ともいわれる小松菜の美味しい季節。ビタミン、カルシウム、鉄分が豊富です。油あげと煮浸しに、豚肉と炒め物にと積極的にいただきましょう。

二節気

うすい

雨水

雪が雨に変わり、水がぬるんで草木の芽が出始める頃。昔の人は、「雨水」を農耕の準備を始める大切な目安としました。

2/19~23(四候) **土脉潤起** つちのしょううるおいおこる

早春の優しい雨が降り、固く凍っていた大地が潤い、眠っていた動物、植物も少しずつ目覚めてゆきます。

「夜もすがら思ひやるかな春雨に野べの若菜いかに萌ゆるむ 具平親王」。

「和布」の旬の季節、おみそ汁に酢の物に欠かせません。

和布を食べる国は、日本と朝鮮半島のみというのは驚きですね。



2/24~28(五候) **霞始靄** かすみはじめてたなびく

遠い山々や野原が春霞でぼんやりと霞始めるやさしい景色。空気もしっとりとして趣ある日本の風景です。「ピーチクパーチク」春を告げる雲雀、空高く昇って鳴く習性があります。タンポポ、猫柳も顔を出し始めます。



2月の季節の花 梅

バラ科サクラ属 落葉低木/原産地:中国
花期:1月~3月、花言葉:紅色/忠実、白色/気品



早春の冷たい空気の中、品のよい香りと共に、一つ一つつぼみがほころんでゆく様は、気品に満ちた静かな美しさにあふれています。

万葉集では桜が38首に対し、梅は122首と多く、古来から日本人は梅を好んできました。「桜伐(き)る馬鹿、梅伐らぬ馬鹿」の諺は、切り口から腐敗しやすい桜に対し、徒長しやすい梅の枝を剪定することにより、姿形を整え、実つきも良くするという特性をよくあらわしています。

松、竹、梅としておめでたい三大植物としてもお正月の定番として飾られました。

未熟の青い実、実は鳥に食べられないようアミグダリンという毒で身を守り、実が成熟した頃、鳥たちの好む味に変えて、たべられた後、遠くへ運ばれるように進化していった植物の知恵です。





Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	埜本	久我	林	兒玉
	午後	埜本	大西	久我	林	兒玉
2診	午前	高橋	津田	角田	埜本	前岡
	午後	高橋	津田	角田	村上	—
3診	午前	担当医	藤田	担当医	藤田	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	津田	辻	津田	津田	担当医
	午後	津田	辻	津田	津田	担当医
6診	午前	脳血管内治療外来(第2・4・5)高橋 てんかん外来(第1・3)丸山	—	脳血管内治療外来 大西(宏)	—	脳血管内治療外来 高橋
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 林	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本
7診	午前	神経内科 立花	—	神経内科 藤田	内科 竈門(カマド)	神経内科 上田
	午後	神経内科 立花	神経内科 藤田	—	内科 竈門(カマド) 神経内科 藤田	<13:00~> 麻酔科 鈴木
脳ドック		埜本	埜本	久我	埜本	兒玉

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H28.2)

連携協力医療機関のご紹介 (No.96)

深水内科医院

院長 深水 眞知子

認定・資格:日本内科学会認定内科医・日本糖尿病学会専門医
日本医師会認定産業医・日本体育協会公認スポーツドクター
診療科目:内科・消化器内科・糖尿病内科・循環器・皮膚科
住所:神戸市垂水区多聞台4丁目13番6号
電話:078-782-0016

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~11:30)	○	○	/	○	○	○	/
午後(13:30~16:30)	○	○	/	○	○	/	/

※ご来院いただく際は、お電話にて予約をお取り下さい。

深水院長からのメッセージ

生活習慣病、特に糖尿病を専門に診療しております。
食事や運動の指導、患者様が内服やインスリンなどの治療が
不安なく行えるよう、糖尿病療養指導士とともにサポートしています。
患者様に寄りそった医療を心がけております。



連携協力医療機関のご紹介 (No.97)

吉田医院

院長 吉田 誠

認定・資格:医学博士・日本内科学会専門医
診療科目:内科・呼吸器科・小児科
住所:明石市松が丘5丁目6-1
電話:078-917-3336

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	/	/
午後(17:00~19:00)	○	/	○	/	○	/	/

吉田院長からのメッセージ

生活習慣病および在宅療養支援診療所として訪問診療も積極的に
取り組んでおります。



お知らせ

他院にも掛っておられる方は、お薬手帳や血液検査データ、紹介状などもご持参ください。
紹介状がある方も保険証は必要です。必ずご持参ください。

JR大久保駅~山陽電鉄江井ヶ島間で無料送迎バスを運行しています。受診予約はかかりつけの診療所からいただけます。
詳しくは地域医療連携室まで。駐車料金は1時間毎に100円です。外来患者様にはサービス券をお渡します。

